

2005年 3月 24日

「日本TRIZ協議会」設立にあたって

日本TRIZ協議会

代表 林 利弘(日立製作所)

世界の激動と革新の進行の中で、日本の技術・産業界が生き残りを懸けてその活力の一層の向上を図る必要が強く認識されています。そのために技術革新のより強力な思想・技法・知識ベース・ツール・活動が必要です。これを担う大きな可能性をもったものとして、創造的問題解決技法TRIZが注目され、日本でも 1996 年以降導入・推進されてきました。TRIZの推進・普及が日本で新しく大きな波になりつつある現在、TRIZの推進関係者が、一年間の予備討議の結果大同団結して、去る 2005 年 2 月 1 日に「日本TRIZ協議会」を発足させました。

「日本TRIZ協議会」は今後、日本におけるTRIZの普及・推進およびそれに関連した一連の活動を行い、日本および世界の技術革新と産業活性化を通じて、生活・文化の向上に寄与していく所存です。今年度は、9月1日～3日に「第1回TRIZシンポジウム」を主催して、TRIZ関連の発表・討論・交流の場を持ちます。また、1年程度の準備期間の後に、より明確な組織として「日本TRIZ協会(仮称)」を発足させたいと考えております。

ここに「日本TRIZ協議会」発足をお知らせし、関連の諸企業・諸団体、および有志の皆さまのご支援をお願いする次第です。

2005年 3月 24日

「日本TRIZ協議会」設立の趣旨

1. 日本におけるTRIZの普及・推進を図るための連携・協力組織とする。
2. 日本におけるTRIZの普及・推進に関わっている各種の組織から、本会の趣旨に賛同する個人が集まり協議体を構成して、協力して活動を行う。
3. TRIZ協議会の活動は、参加者の自発的な意志によるものであり、TRIZ協議会での決定が所属企業/団体などを直接に拘束するものではない。
4. TRIZ協議会はシンポジウムなどの公的な活動と交流の場の提供を行い、TRIZに関心をもつ人々（ユーザ、研究者、教育関係者、公益団体関係者、ツール開発・提供者、出版関係者、コンサルタント、その他）からの参加を得る。
5. 初年度に、「第1回TRIZシンポジウム」を主催する。

なお、一年程度の準備期間を経て、産業界・学界・官界などからの法人参加および個人参加を得、「日本TRIZ協会（仮称）」の設立を期する。

代表	林 利弘	(株)日立製作所 toshihiro.hayashi.wk@hitachi.com
幹事	三原 祐治	(株)富士フイルム人材開発センター mihara@ffhd.fujifilm.co.jp
幹事	中川 徹	大阪学院大学 nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp
幹事	小西 慶久	MRI システムズ(株) konishi@mri.co.jp
幹事	黒澤 慎輔	産業能率大学 KUROSAWA_Shinsuke@hj.sanno.ac.jp
幹事	堀田 政利	(株)創造開発イニシアチブ hotta@triz-jp.com

[事務局] 〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-3 第二森ビル
株式会社創造開発イニシアチブ 内
TEL:03-5777-8197 FAX:03-5777-8818
E-mail:info@triz-jp.com